



地域の方からうれしい情報

夏休み明けに地域の方（女性）からうれしい情報をいただきました。道路沿いの畑で農作業をしていた時、偶然そこをとおりがかった小学生（少年）が元気なあいさつをしてくれたということ。そしてその後自動販売機でお茶を買い、女性に渡してくれたということでした。猛暑の昼間に作業をしていたのを見てとった少年の行動に感動され、学校に連絡をくださいました。この少年の優しさがうれしかったと同時に少年の保護者の子育てにも感謝したいと言われました。学校にお電話をいただいたこと、この女性の知り合いの方は学校に知らせる目的でわざわざ学校までおいでくださいました。うれしい気持ちがますますうれしくなりました。9月8日付けの地元紙にも掲載され、後日、女性は本校の児童に手紙を持って来てくださいました。心が温まるプラスの連鎖、大変嬉しいことでした。

地元の伝統 須屋神楽について

小学4～6年生の18人が夏休みから須屋神楽の練習に励んでいます。敬老会は中止となりましたが、次に向けて練習をしています。神楽について次号で紹介いたします。

前期後半の子どもたちの様子は・・・

8月24日から学校が再開となり、子どもたちは大粒の汗をかきながら登校をしていましたが、最近では朝がぐんと涼しくなり登校しやすくなりました。定時に起きて登校することにも慣れて来たようで、大きな声であいさつをしてくれますので、いつも元気をもらっています。徒歩通学のお陰で体力もずいぶんついてきているようです。

一方で、校内の様子を見て回ると最近少し気になることがあります。コロナの影響で長期の休校直後にも心配したことです...

- ・言葉の乱れや言葉遣い
- ・姿勢の保持
- ・集中力の維持
- ・相手の目を見て会話すること



などです。これらの背景には、コロナウィルスによるさまざまな制約が少なからず影響していると考えています。本来であれば、4月から6月にかけて指導できる部分ですが、今年度はそれが十分出来ているとは言えません。特に言葉遣いでは、お互いにマスクをしているので表情がつかめないため、誤解を招いたりひどく傷ついたり、傷つけたりを繰り返し、互いの溝を深めてしまいます。表情が分かりづらいからこそ、相手の目を見て話すことの大切さを指導しなければと考えています。

学校でしっかり指導をしていきますが、ご家庭でも気付いた時に同じ視点でご指導頂けると助かります。よろしくお願ひします。

これからの学校行事について

今年度の学校行事は熊本県のコロナウィルス感染リスクレベルや近隣の感染状況、感染防止策を検討しながら、中止や延期、縮小など、その都度確認しながら進めているところです。

そこで、今後の学校行事について現在の計画をお知らせします。

○運動会について⇒実施予定

PTAの皆様のご協力をいただきながら実施します。（後日ご案内を配布予定です。）

○学年行事について（修学旅行含む）⇒実施予定

保護者の皆様に感染予防対策をお示ししたうえで、同意頂ける場合は同意書を提出して頂き、実施します。

なお、実施直前や当日の感染状況により中止とする場合もあります。

コロナウィルスと向き合って

いかにしてコロナと向き合って生活（with corona）していくのかはとても難しいですが、コロナ対策をゆるめることなく日々の暮らしを進めていかねばなりません。

先日の台風10号では、多くの家庭が事前に備えをされていたと思います。このコロナ対策も**毎日が事前対策**です。万が一を想定しておくべきかもしれません。保護者が感染して入院やホテル療養が必要になった場合、子どもはどうする（なる）のか。預け先はあるのか、など。日頃から家族で話ができおけばいいかもしれません。最も大事なことは、一人一人が対策を怠らないことです。神経質になりすぎずに予防をしていきましょう。

新型コロナウイルスに関する
電話相談窓口

県専用窓口

096-300-5909
(24時間対応)